

NP シリーズプリンタードライバー

Windows 7／8.1／10 対応

取扱説明書

ダイオーポスタルケミカル株式会社

目 次

1. はじめに.....	1
2. 動作環境.....	1
3. インストール.....	2
4. ポートの設定.....	8
5. アンインストール.....	9
6. 印刷設定.....	11
7. プリンター共有.....	15
8. プリンター仕様.....	18

1. はじめに

本書は、NP シリーズプリンタドライバの取扱説明書です。本製品を使用することによりパソコンから印刷することができます。

誤った使用方法や不用意な操作は、システム破損や事故の原因となる恐れがあります。本製品を快適かつ安全にお使いいただくために、本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

2. 動作環境

- ① OS : 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10
いずれも 32bit/64bit に対応します。

- ② 対応プリンター機種

【単色機種】

NP-777U
NP-777U-12
NP-777U-16
NP-777U-24

【2色機種】

NP-122X
NP-122W

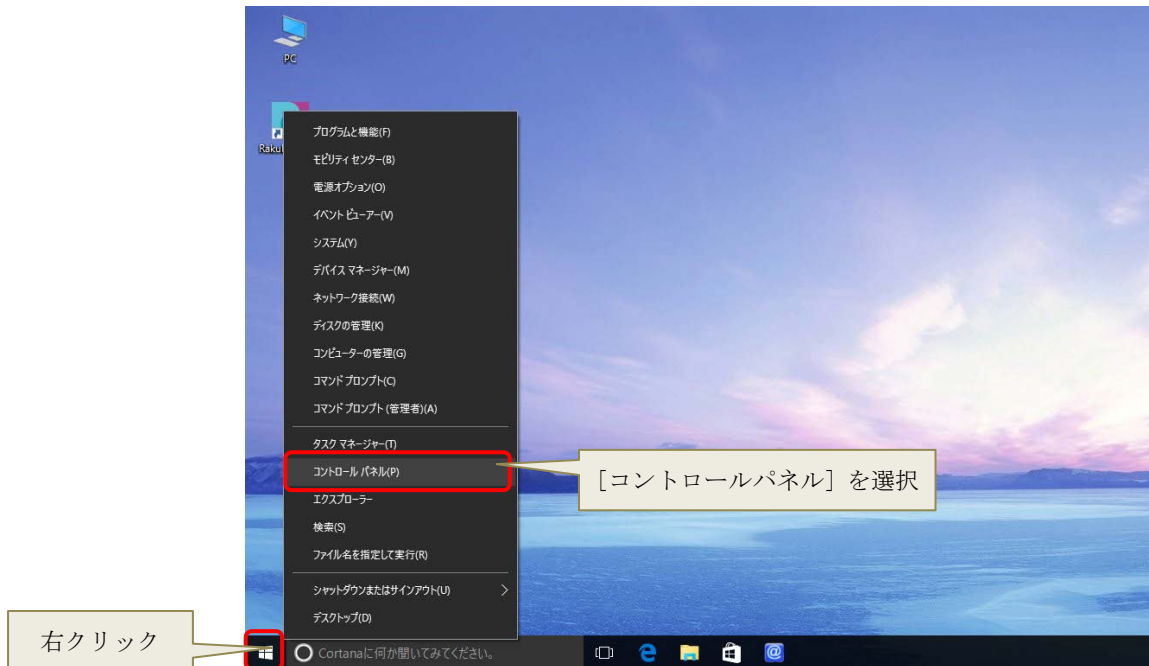
3. インストール

ここでは、パソコン OS が Windows10 である場合を例に説明します。Windows8.1 の場合も同等の画面が表示されます。

本作業は、管理者に設定されているユーザーアカウントでログインしてから実行してください。

① コントロールパネルを開く

タスクバーのスタートメニューボタンの上で右クリックし、「コントロールパネル」を選択します。



② デバイスとプリンターを開く

「コントロールパネル」画面から「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

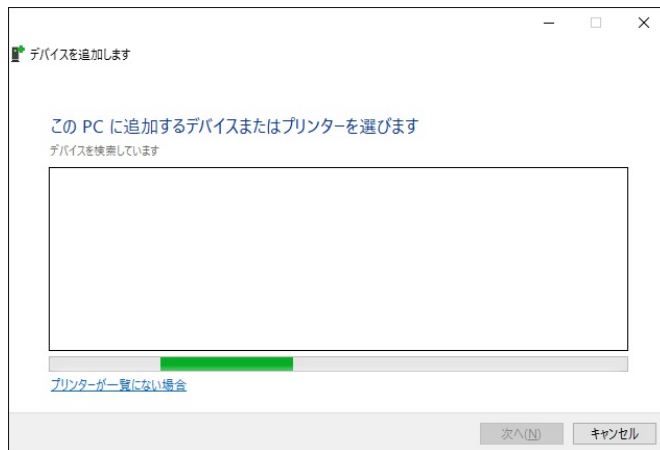


③ プリンターの追加

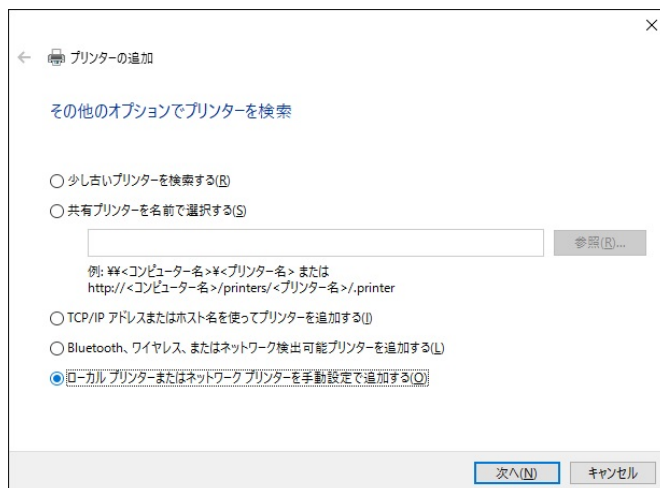
画面上部の「プリンターの追加」を選択します。



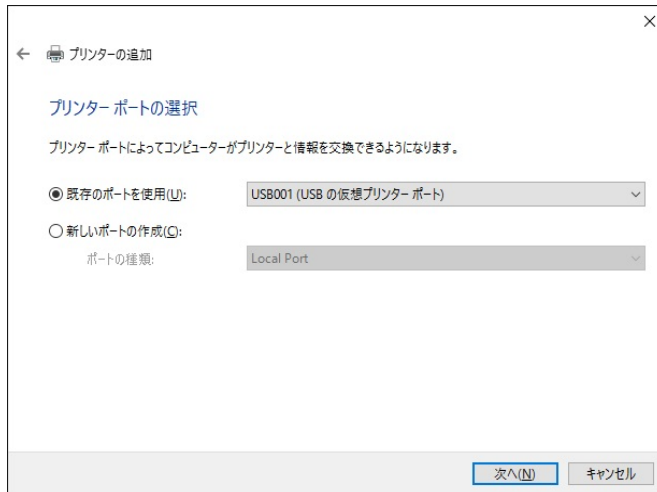
④ 「プリンターが一覧にない場合」を選択します。



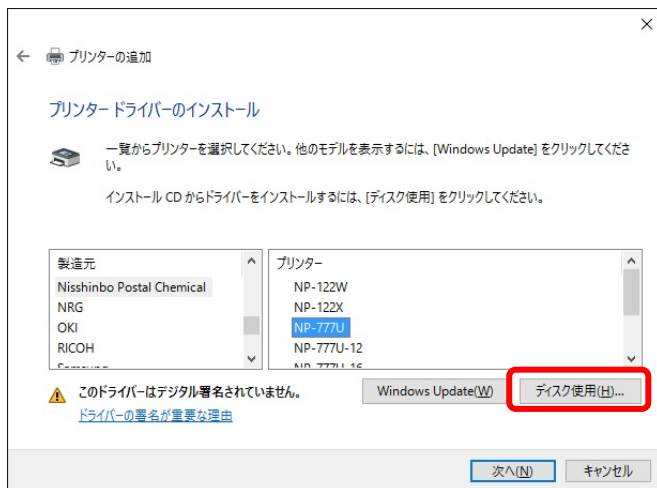
⑤ 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択します。



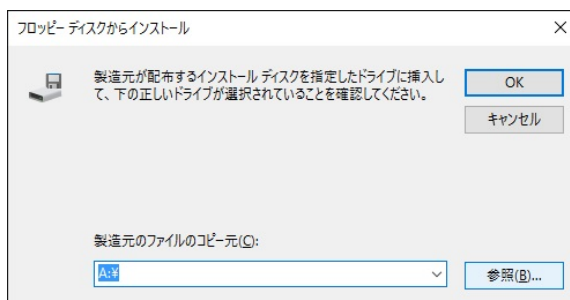
- ⑥ ポートを指定します。後で変更できます。



- ⑦ インストールディスクを CD-ROM ドライブに挿入していることを確認してから、[ディスク使用]をクリックします。



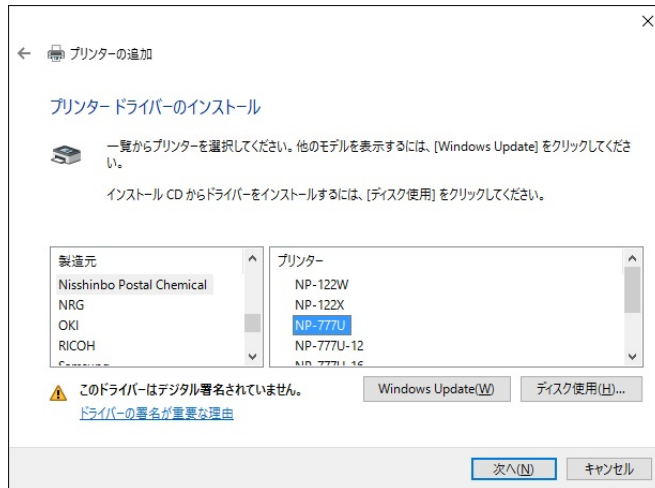
- ⑧ [参照]をクリックして、インストールディスクからファイルを指定します。



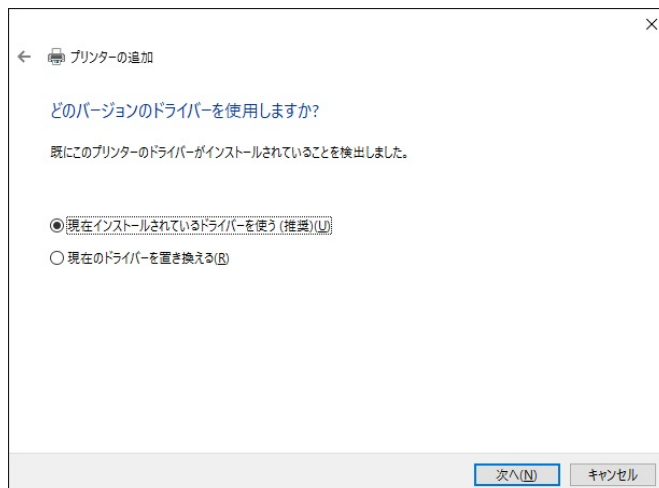
ファイルは機種名と OS のビット数ごとのフォルダに分かれています。それぞれのファイル名は次の通りです。

- ・「NP777-32-DRV. INF」
- ・「NP777-64-DRV. INF」
- ・「NP122-32-DRV. INF」
- ・「NP122-64-DRV. INF」

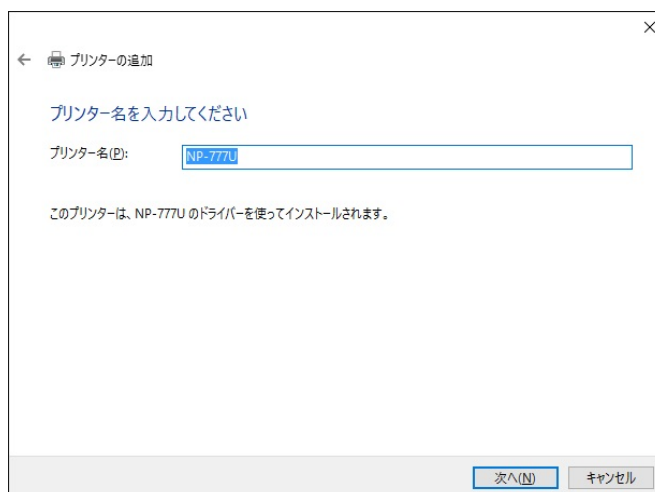
⑨ インストールするプリンターを指定します。



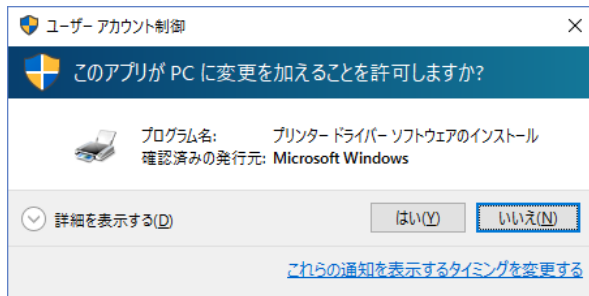
⑩ 「現在のドライバーを置き換える」を選択します。



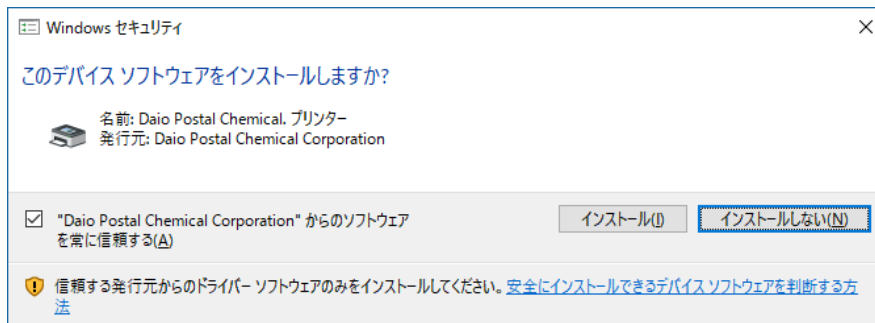
⑪ プリンターの名称を入力します。



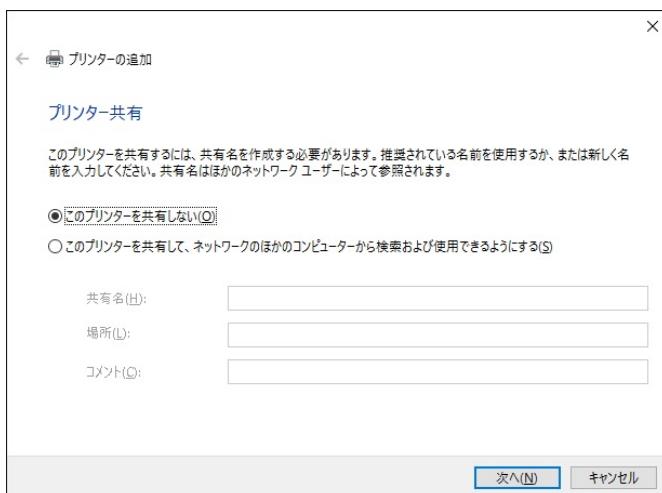
- ⑫ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は「はい」を選択します。
パソコンの設定によっては、表示されないことがあります。また、パスワードを求められることがあります。



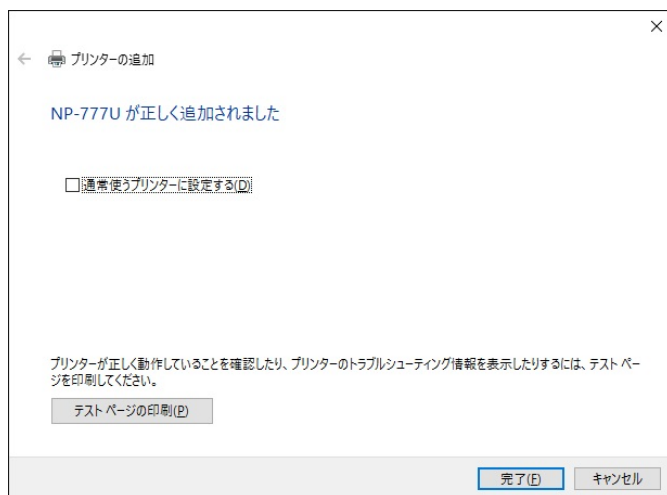
- ⑬ Windows セキュリティ画面が表示されますので「インストール」を選択し、インストールを続行して下さい。



- ⑭ プリンターを共有するときは「このプリンターを共有して、…」、共有しない場合は「このプリンターを共有しない」を選択します。



- ⑮ これでプリンターのインストールは完了です。
- 通常使用するプリンターとする場合は「通常使うプリンターに設定する」にチェックを入れます。
テストページの印刷を行う場合は[テストページの印刷]をクリックします。



4. ポートの設定

ここでは、パソコンとプリンターの接続に関する設定をします。

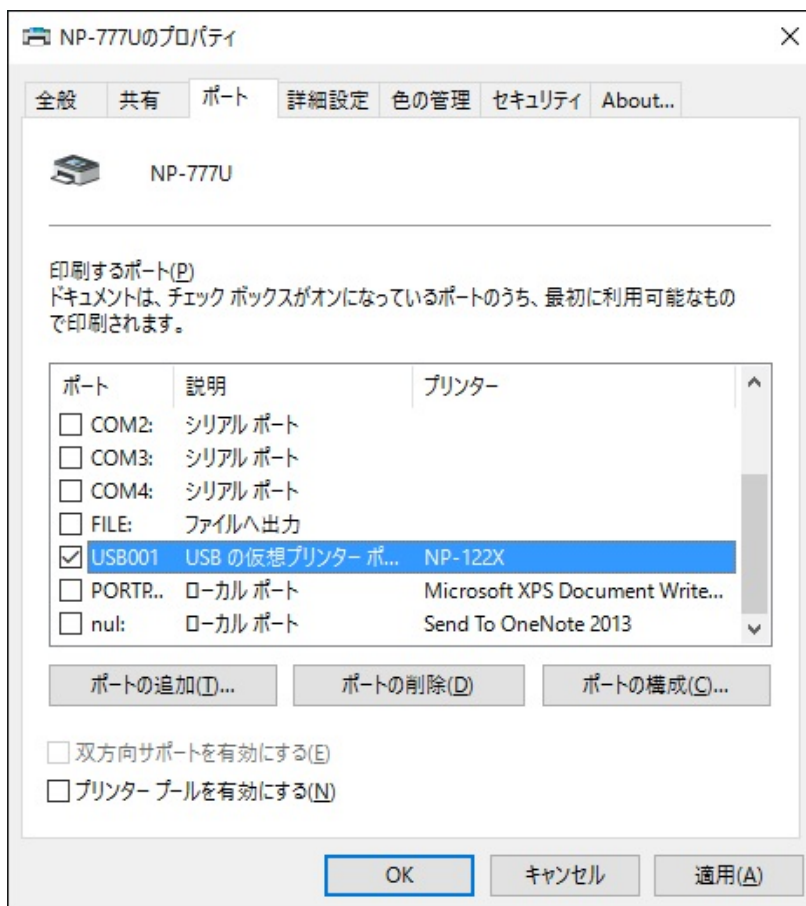
【USB で接続する場合】

事前にプリンター本体の通信設定の次の項目を設定してください。

インターフェース : USB2.0

デバイス : MEXUSB3

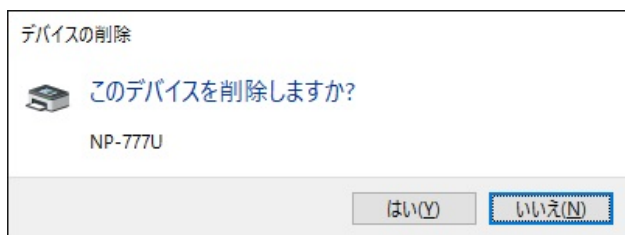
- ① 「デバイスとプリンター」の画面から任意のプリンターを右クリックし、「プリンターのプロパティ」を選択します。
- ② ポートタブをクリックして、出力ポートを選択します。
USB 接続を行うときは「USBXXX USB の仮想プリンターポート」を選択します。
「USB の仮想プリンターポート」は、プリンターを USB で接続し電源を ON にすると自動的に作成されます。



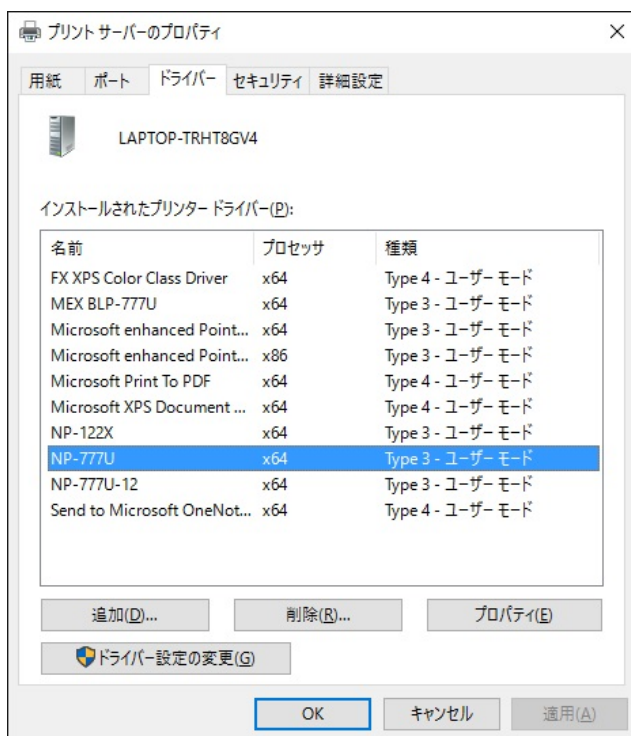
5. アンインストール

ここでは、パソコンからプリンターを削除する方法について説明します。

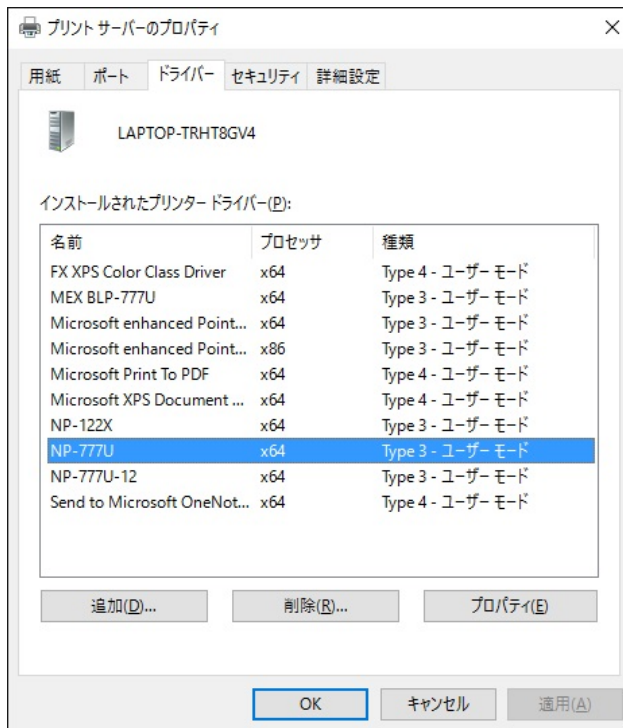
- ① 「デバイスとプリンター」の画面から任意のプリンターを右クリックし、「デバイスの削除」を選択します。
- ② 確認メッセージで、[はい]を選択して削除します。



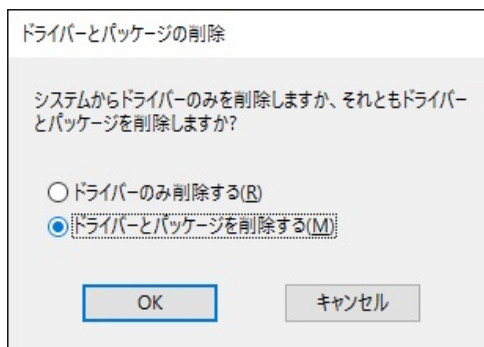
- ③ 次にデバイスとプリンター画面上にある何れかのプリンターを選択すると、画面上部に「プリント サーバープロパティ」が表示します。



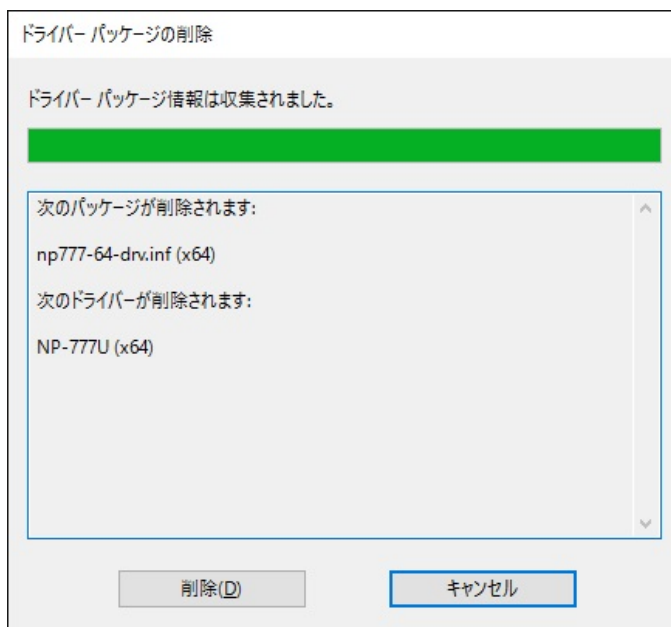
- ④ “プリントサーバープロパティ”をクリックして、プリントサーバーのプロパティ画面を呼び出し、ドライバータブを選択します。「ドライバー設定の変更」ボタンをクリックします。



- ⑤ 「ドライバーとパッケージを削除する」を選択して、[OK]をクリックします。



- ⑥ ドライバーパッケージ情報を収集されると、[削除]をクリックします。



6. 印刷設定

用紙サイズやプリンターの動作は印刷設定画面にて指定します。印刷設定を表示するには「デバイスとプリンター」画面より任意のプリンターを右クリックし、メニューより「印刷設定」を選択します。

画面は、[用紙（ラベル）] タブと [デバイスオプション] タブで構成されます。印刷画面の内容はプリンター機種ごとに異なります。

① [用紙（ラベル）] タブ

NP シリーズプリンター共通の内容です

A) 用紙

使用する用紙を登録されている中から選択します。▼ をクリックすると一覧が表示されます。ユーザー定義用紙 (用紙 ID: 256) の設定を変更する場合は、用紙を「ユーザー定義」に選択し、以下の内容を変更して下さい。

B) 用紙情報

選択した用紙の情報が表示されます。値を入力出来ます。

- ・ 用紙幅：使用する用紙の幅です。入力範囲は使用する機種によって異なります。(1 mm 単位)
- ・ 用紙長：使用する用紙の長さです。入力範囲は使用する機種によって異なります。(1 mm 単位)
※用紙幅と用紙長はアプリケーションソフトから印刷設定画面を開いた場合、変更不可です。
- ・ 用紙間：使用する用紙と用紙の間の値です。(0.0～99.9mm)
- ・ 位置補正：0.0mm で用紙の端から印刷します。値を変更すると印刷開始位置が変更します。
(-99.9～99.9mm)
- ・ カット位置：0.0mm で用紙間をカットします。値を変更するとカット位置が変更します。
(-99.9～99.9mm)
- ・ カット枚数：プリンターにカッターが装着されている場合、用紙を何枚単位でカットするかを設定します。(0～99 枚)
- ・ カット補正：ヘッド・カッター間の用紙枚数を設定します。(0～99 枚)

<用紙長，用紙間の入力についての注意事項>

ラベル用紙長が少数値になる場合は用紙長に少数値を切り下げた値を入力し、用紙間には切り下げた少数値を足してから調整してください。

例) ラベル用紙長が 78.8mm で、ラベル用紙間が 3mm の場合

用紙長：78mm，用紙間：3.8mm

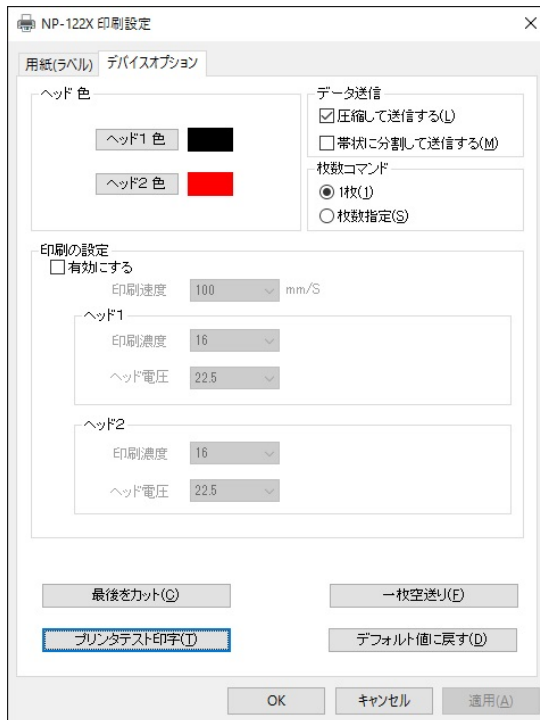
- C) [新規]
新たに用紙を追加します。用紙名を入力するダイアログが表示されます。
追加する用紙の名前を入力します。最大入力文字数は全角で 30 文字です。
用紙の登録最大件数は 250 件です。
※アプリケーションソフトから印刷設定画面を開いたときは 無効です。
- D) [削除]
現在選択されている用紙を削除します。確認のメッセージダイアログが表示されます。
※アプリケーションソフトから印刷設定画面を開いたときは 無効です。
- E) [読込]
[保存] した用紙情報ファイルを読み込みます。
- F) [保存]
用紙情報をファイルに保存します。
- G) 展開処理
幅広や高密度プリンターでは、Driver 側で展開処理を行うことにより、印字開始までの時間を短縮します。
Driver 側で展開処理を行う場合は、“Driver で行う”にチェックを入れます。各ヘッドの X 座標補正を設定します。(-30.0~30.0mm) 従来通りプリンターで展開処理を行う場合は、“Driver で行う”のチェックを外します。
※“NP-777U”、“NP-777U-8”、“NP-777U-12”、“NP-777U-16”は、Driver 展開に対応していません。本項目は無効となります。
- H) 印刷の向き
印刷の向きを設定します。
0° : プリンター正面から見て印刷されたものがそのまま読める方向です。
90° : プリンター正面から見て左側に印刷内容の上がくる方向です。
180° : プリンター正面から見て印刷されたものが逆になる方向です。
270° : プリンター正面から見て右側に印刷内容の上がくる方向です。
- I) 部数
印刷する枚数を設定します。
- J) 最後をカットする
設定枚数を印刷した後、カットする場合にチェックを入れます。
プリンターにカッターが装着されている場合に有効です。
- K) [バージョン]
プリンタードライバのバージョン情報を表示します。
- L) [デフォルト値に戻す]
用紙と用紙情報を除く、各設定をデフォルト値に戻します。
- M) [OK]
値を確定して画面を閉じます。
- N) [キャンセル]
値を確定しないで画面を閉じます。
- O) [適用]
値を確定します。

② [デバイスオプション] タブ／NP-777 系



- A) [ディザリング]
 “パターン3”を選択してください。
- B) [データ送信]
 ・圧縮して送信する
 データを圧縮してプリンターに送信することにより、データ伝送時間を短縮します。
 Driver 側で展開処理を行うときも有効です。
 ・帯状に分割して送信する
 データを、ラベルの流れ方向に幾つかの帯状に分割してプリンターに送信します。
 2 枚目以降は、前回のデータと比較して、変化のあった分割ブロックのみ送信することにより、データ伝送時間を短縮します。ただし、1 回の印刷で複数枚印刷を行ったときのみ有効です。
 ※Driver 側で展開処理を行うときは、設定に関わらず、ラベルの流れ方向に幾つかの帯状に分割して送信します。
- C) 枚数コマンド
 1 枚印刷コマンドを枚数分送信するか、枚数指定コマンドを送信するかを指定します。
- D) 印刷の設定
 有効にする：次の印刷設定値をプリンターに送信します。
 印刷速度／印刷濃度／ヘッド電圧
- E) [最後をカット]
 印刷の最後で用紙をカットします。プリンターにカッターが装着されている場合に有効です。
- F) [プリンターテスト印字]
 プリンターのテスト印字を実行させます。
- G) [一枚空送り]
 プリンターに用紙 1 枚空送りさせます。
- H) [デフォルト値に戻す]

③ [デバイスオプション] タブ／NP-122 系



- A) ヘッド 1 色
 - ・ [ヘッド 1 色]
ヘッド 1 の指定色を設定します。中間色は設定しないでください。
 - ・ [ヘッド 2 色]
ヘッド 2 の指定色を設定します。中間色は設定しないでください。
- B) データ送信
 - ・ 圧縮して送信する
データを圧縮してプリンターに送信することにより、データ伝送時間を短縮します。
Driver 側で展開処理を行うときも有効です。
 - ・ 帯状に分割して送信する
データを、ラベルの流れ方向に幾つかの帯状に分割してプリンターに送信します。
2 枚目以降は、前回のデータと比較して、変化のあった分割ブロックのみ送信することにより、データ伝送時間を短縮します。ただし、1 回の印刷で複数枚印刷を行ったときのみ有効です。
※Driver 側で展開処理を行うときは、設定に関わらず、ラベルの流れ方向に幾つかの帯状に分割して送信します。
- C) 枚数コマンド
1 枚印刷コマンドを枚数分送信するか、枚数指定コマンドを送信するかを指定します。
- D) 印刷の設定
有効にする：次の設定した印刷設定値をプリンターに送信します。
印刷速度／印刷濃度(ヘッド 1, ヘッド 2)／ヘッド電圧(ヘッド 1, ヘッド 2)
- E) [最後をカット]
印刷の最後で用紙をカットします。プリンターにカッターが装着されている場合に有効です。
- F) [プリンターテスト印字]
プリンターのテスト印字を実行させます。
- G) [一枚空送り]
プリンターに用紙 1 枚空送りさせます。
- H) [デフォルト値に戻す]
各設定をデフォルト値に戻します。

7. プリンター共有

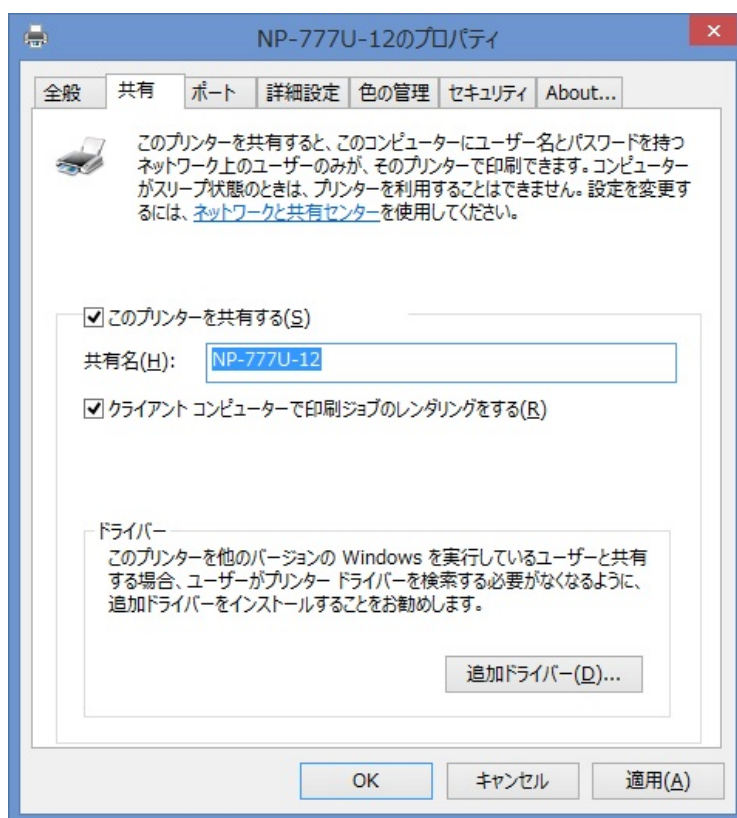
1 台のラベルプリンターを、ネットワークを経由して、複数の PC で共有して使用方法について説明します。

① システム構成例



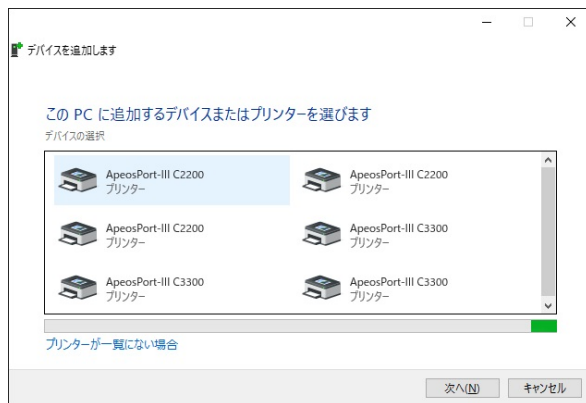
② 共有プリンターの設定

- A) サーバー PC にインストールしているプリンターを共有設定にします。
プリンタープロパティの共有タブ画面で、「このプリンターを共有する」をチェックし、「クライアント コンピューターに印刷ジョブのレンダリングをする」にチェックします。

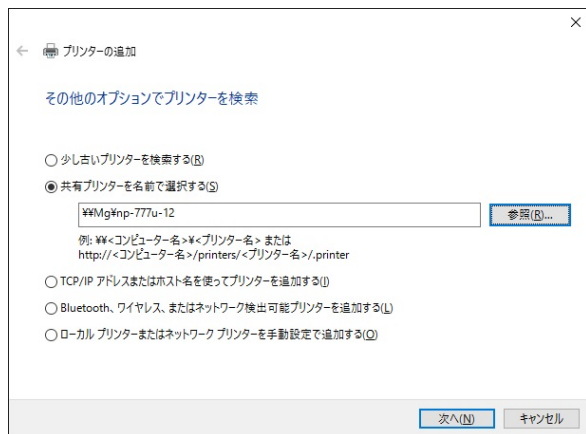


③ クライアント PC の設定

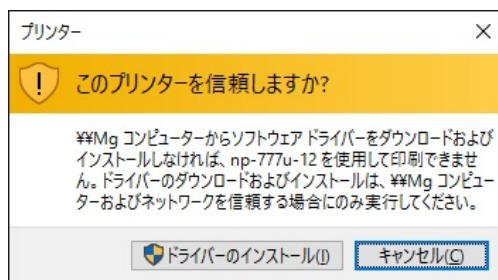
- A) エクスプローラで、クライアント PC からサーバー PC の共有プリンターが見えているか確認します。見えていない状態でしたら、ネットワークが繋がっていませんので、共有プリンターをインストールすることは出来ません。
- B) 「コントロールパネル」画面から「デバイスとプリンター」をクリックします。
- C) デバイスとプリンター画面で「プリンターの追加」をクリックします。
- D) デバイスの選択に対象の共有プリンターが見つからない場合は「プリンターが一覧にない場合」を選択します。



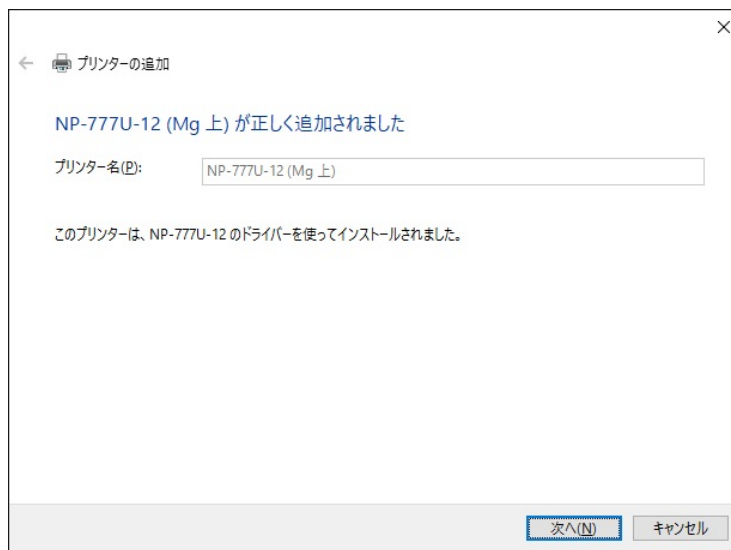
- E) 「共有プリンターを名前で選択する」を選択して、「参照」ボタンからネットワークの中のプリンターを探すか、プリンター名を入力して下さい。



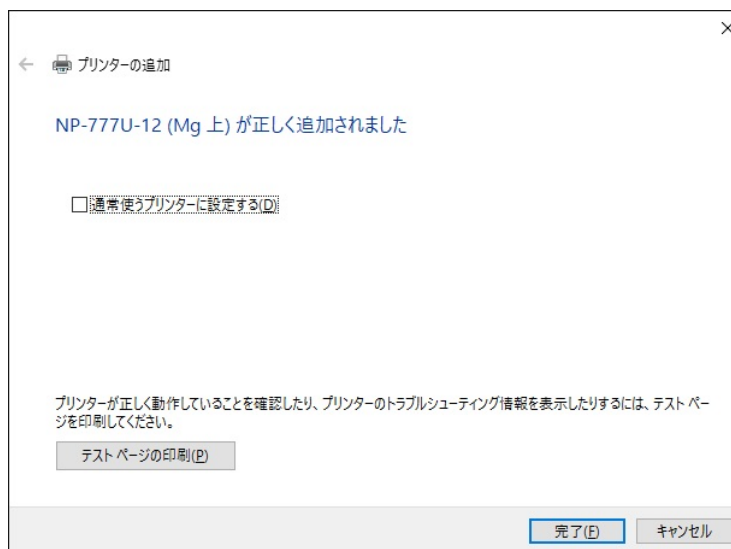
- F) 以下のセキュリティ画面が表示されたら「ドライバーのインストール」を選択して、インストールを続行してください。



- G) 下記の画面が表示されればプリンターのインストールは完了です。



通常使用するプリンターとする場合は下記の画面で「通常使うプリンターに設定する」にチェックして下さい。



④ 注意事項

- A) ネットワーク上で共有プリンターとして使用できますが、本ドライバーでは用紙情報は共有できません。サーバー側の用紙情報を、クライアント側にコピーして同じ内容で使用します。用紙情報等の変更は、全てサーバー側で行い、クライアント側にコピーします。サーバー側にある用紙情報の一部は、プリンターの制御に使用されます。
- B) 共有インストールは、サーバーPC とクライアント PC を、同じ OS の同じ bit 版にする必要があります。
- C) PC の再起動後などは、エクスプローラで、クライアント側 PC から サーバー側 PC の共有プリンターが見えているか確認してください。見えていない状態でしたら、ネットワークが繋がっていないので、共有プリンターを使用して印字が出来ません。

8. プリンター仕様

プリンター機種ごとの仕様は次表の通りです。

機種名	印字密度 (dot/mm)	用紙幅 (mm)	用紙長 (mm)	Driver 展開 の可否
NP-777U	8	30～104	40～300	×
NP-777U-12	11.8	30～108	40～300	×
NP-777U-16	15.75	30～97	40～300	×
NP-777U-24	23.6	30～105	40～250	○
NP-122W	12	80～160	40～300	○
NP-122X	12	100～213	40～300	○

プリンターとパソコンを USB で接続する場合は、プリンター内部のプログラムが対応している必要があります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。

機種名	プリンターバージョン	ローダーバージョン	出荷時期
BLP-777U	11057v01 ～	11025v01 ～	2013 年 7 月以降
BLP-777U-12	11024v01 ～	11025v01 ～	2012 年 11 月以降
BLP-777U-16	12021v00 ～	11025v01 ～	2013 年 3 月以降
BLP-777U-24	12020v00 ～	11063v01 ～	2016 年 7 月以降
NP-122W	11061v00 ～	11059v00 ～	2013 年 10 月以降
NP-122X	11060v00 ～	11059v00 ～	2013 年 10 月以降